

平成 28 年度「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」修正内容

平成 27 年度における総合戦略の進捗状況を評価した結果、主に見直した内容は以下のとおり。(評価期間：平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月)

◆ K P I の上方修正や新規事業など更に推進するための修正内容

- ① 北九州ゆめみらいワーク事業の K P I (参加者) を 6,500 人に上方修正 (+500 人)
- ② 明日の公共事業を支える人材確保・育成事業の K P I (関心度) を 75%以上に上方修正 (+5%)
- ③ ロボット産業振興に関して、介護現場での実証やドローンの活用など記載するとともに、県内ロボット製造品出荷額の K P I を 950 億円に上方修正 (+161 億円)
- ④ 女性や若者等の創業を支援する開業支援資金融資に関し信用保証料の利用者負担を無くすことを追加
- ⑤ 基本目標である外国人観光客数を 40 万人に上方修正 (+14 万人)
- ⑥ 観光・にぎわいを更に強化するため「小倉城周辺魅力向上事業」、「旧安川邸利活用事業」を新規追加
- ⑦ ダイバーシティ人材養成事業に関し参加企業の K P I を 490 社に上方修正 (+390 社)
- ⑧ ひとり親家庭の自立応援事業に関して市独自の給付金を扶養児童数に応じて加算することを明記
- ⑨ ペリネイタルビジット事業を市として実施することを明記
- ⑩ 特定不妊治療費助成事業に関して助成金額を拡大するとともに男性不妊治療助成を拡充することを明記
- ⑪ 海外作品誘致・支援事業に関して来北による撮影・ロケハン件数の K P I を 20 件に上方修正 (+15 件)
- ⑫ 文学の街・北九州発信事業に関して北九州文学サロン (H28 年度末開館) 利用者数を 39,000 人とする K P I を新たに設定
- ⑬ 下関市や北九州都市圏の 17 市町との連携を強化し地域の活性化を図るため、「かんもん海峡都市 観光まちびらき・形成推進事業」、「北九州都市圏によるきりんの輝き推進事業」を新規追加
- ⑭ 空き家等対策の推進に関して老朽空き家等除却促進事業の利用による除却戸数の K P I を 900 戸に上方修正 (+150 戸)
- ⑮ 北九州市空き家バンクの成約件数の K P I を 80 件に上方修正 (+55 件)

◆ 事業とK P I の連動性を踏まえ強化するなどした修正内容

- ① 市内学生を対象としたインターンシップを「地方創生インターンシップ」と改め東京圏の大学生まで対象を拡大
- ② 市内外の大学生を対象として、本市の地方創生に資する地元企業の就職を促進する「地方創生奨学金返還支援事業の検討」を追加
- ③ アクティブシニアの定住・移住の促進を図るため「シニア活躍！セカンドキャリア支援プロジェクト」を追加
- ④ 地域再生計画が認定された北九州市版生涯活躍のまちを形成していくことについて定住・移住の促進事業の一つとして追加
- ⑤ 新卒地元就職者等を対象に住宅供給公社所管物件の家賃等を減額し入居支援を実施することを追加
- ⑥ 公園等公共空間利用の活性化に関しイベント開催率をK P I に追加（休日等における勝山公園でのイベント開催率 40%以上）

◆事業の状況等を踏まえ見直し等をした修正内容

- ① 住宅支援の二つの事業を統合するとともに、対象要件の見直し等を実施（「住むなら北九州」事業）
- ② 補助金交付要件を無職から正規雇用のみならず、非正規雇用から正規雇用への転換の場合にも緩和（「若年者雇用創造チャレンジ事業」）
- ③ ウェルカムパスポートの申し込み方法を簡略化（「転入者ウェルカムパスポート事業」）

◆その他の修正内容

- ① ウーマンワークカフェ北九州の新設や北九州市東京事務所の移転に伴う北九州U・Iターン応援オフィスの設置など施設の設置に伴う修正
- ② 北九州市立大学が代表校となり申請した文部科学省補助事業「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択等を受けたことによる修正
- ③ 出会うの場を創出する役割の一端を担うN P O 法人が設立されたことによる修正

◆国の動きを受けた修正内容

- ① 国家戦略特区の指定を受け地区計画等が認定されたことに関する修正
- ② 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が創設されたことに関する修正